

NEWS RELEASE

富士フイルムビジネスイノベーションのAIを訴求 TVCM「ビジネス DX」 新シリーズ

10月5日（月）より全国で展開開始

2026年10月5日

富士フイルムビジネスイノベーション株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：浜 直樹）は、「富士フイルムビジネスイノベーションといえばDX」のイメージ醸成を目指すTVCMの新シリーズを、10月5日（月）より全国で展開開始します。

TVCM「ビジネス DX」の新シリーズは「ビジネス DX DX クエスチョン」篇、「ビジネス DX ドラマ・伴走」篇の二作品で構成されており、キャッチコピーは「ビジネス DX で、攻めのAIを手に入れる。」です。

本作品には、前回に引き続き、俳優・長谷川博己さんを起用。

第一作「ビジネス DX DX クエスチョン」篇では、クイズ番組をモチーフに、企業におけるAI活用の現状と課題を問いかける構成となっています。個人レベルでの検索や要約、資料作成などの業務効率化にとどまらず、企業の意思決定を支えるAI活用をテーマに、社内に蓄積された情報やノウハウをAIが活用しやすい形で整理する「情報の構造化」の重要性を伝えます。

第二作「ビジネス DX ドラマ・伴走」篇は、富士フイルムビジネスイノベーションを体現する長谷川さんと俳優・迫田孝也さん演じるお客様との軽快な掛け合いでストーリーを展開。AI導入によって業務効率化を実現した企業と、さらにその先の成長を目指す姿を描きます。「やっぱりフツウじゃないね」というセリフを通じて、単なるAI導入にとどまらず、定着・成果創出まで伴走する富士フイルムビジネスイノベーションならではの提供価値を表現しています。



■富士フイルムビジネスイノベーション 「ビジネス DX」 TVCM

「ビジネス DX DX クエスチョン」篇 (<https://youtu.be/M1sl7E6Q5UE>)



「ビジネス DX ドラマ・伴走」篇

(<https://youtu.be/HQy4AlHzXTE>)



■特設 WEB サイト URL : https://www.fujifilm.com/fb/lp/business_dx

■プロフィール

長谷川 博己 :

文学座でキャリアをスタート。

蜷川幸雄演出作品をはじめ、多くの舞台作品で存在感を示し、映像作品にも活動フィールドを広げ、2011年にドラマ『鈴木先生』で初主演を務める。他、主な出演作に NHK スーパープレミアム『獄門島』(2016)、TBS 日曜劇場『小さな巨人』(2017)、TBS 日曜劇場『アンチヒーロー』(2024)、NHK 連続テレビ小説『まんぷく』(2018)、NHK 大河ドラマ『麒麟がくる』(2020)、NHK スペシャル時代劇『眠狂四郎』(2026)、映画『シン・ゴジラ』(2016)、『リボルバー・リリー』(2023)、『汝、星のごとく』(2026年)など。

テレビ東京にて放送中の『ガイアの夜明け』の案内人も務めている。

迫田孝也 :

2008年に映画『ザ・マジックアワー』をきっかけに活躍を広げ、ドラマや映画、舞台など幅広く活動。主な出演作品は、TBS 日曜劇場「VIVANT」(2023)、映画「TOKYO タクシー」(2025)など。

現在、NHK 大河ドラマ「豊臣兄弟!」、TBS ラジオ「悪役会議室」、舞台「スリーゴースト」、映画「ファーストボイス」に出演中。

■TVCM 概要

タイトル : 「ビジネス DX DX クエスチョン」篇 (30 秒)

「ビジネス DX ドラマ・伴走」篇 (30 秒)

展開開始日 : 2026 年 10 月 5 日 (月)

地上波放映開始日 : 2026 年 10 月 12 日 (月)

放送地域 : 全国

■スタッフリスト

CD + PL	横澤 宏一郎 (BORDER inc.)
AD	櫻井 成美 (博報堂プロダクツ)
PL + CW	松田 正志 (文と絵)
CW	木村 透
AE	大西 賢一郎 (博報堂)
AE	芳見 飛鳥 (博報堂)
AE	大滝 礼佳 (博報堂)
Producer	川口 正太 (AOI Pro.)
Producer	太田 悌生 (AOI Pro.)
Production Manager	坂本 優太 (AOI Pro.)
Production Manager	松本 都垂 (AOI Pro.)
Director	太田 良 (The April)